

星屑

No.329
Aug. '02



20周年記念星空寄席
柳家小ゑん師匠 「銀河の恋の物語」

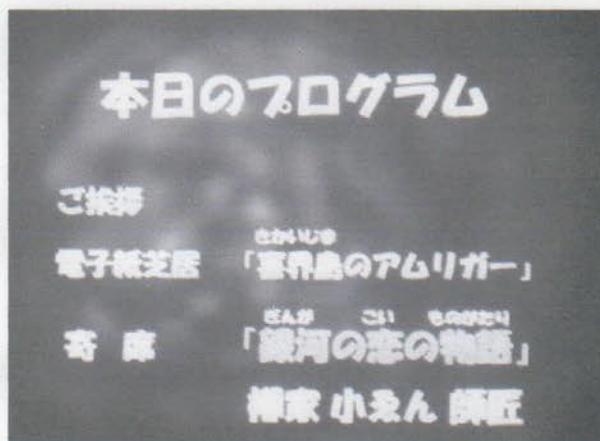
熊本県民天文台

熊本県民天文台 20周年記念

柳家小ゑん師匠が、20周年のお祝いに来台



熊本県民天文台 20周年を記念して、
七夕前夜の 7月 6日（土曜日）午後 7時
火の君総合文化センターにて、星空寄席
が行われました。
師匠は、世界中でただ一人の、科学する
落語家です。



本日のプログラム

ご挨拶

電子紙芝居 「喜界島のアムリガー」

寄 席 「銀河の恋の物語」

柳家 小ゑん 師匠



先ず、天文台台長挨拶からの始まりで
スタートしました。台長からは、20年
の歩みと天文台建設のいきさつ（寄付金
など）から始まり、村山先生から、そ
ういう天文台は3年も続ければ本物だよ、と
言われて、もっと続けてやるぞと頑張っ
てきたこと。10周年記念の時小ゑんさ
んが来られたことなど話されました。
最近では、小林副台長の発見した小惑星
や、会員の名前が付いた小惑星があるこ

と、等の話がありました。後援者ご挨拶では、城南町社会教育課 係長 豊崎様より、天文台20周年おめでとうございます。とのお言葉を頂きました。

会場は、子供を連れた家族で大にぎわいです。先ずは、電子紙芝居「喜界島のアムリガー」です。お話は、鹿児島県、薩南諸島の中の喜界島では、天人のことをアムリガー、つまり天隆子と呼んでいます。大昔、一人の若い牛飼いがいた。姉と妹の天降子は天から降って、野中の泉のかたわらに立つ木に、身につけていた美しい飛羽（とびはね）を掛けて、水浴びをしていた。牛飼いがこれをみつけて、こっそりと飛羽の一つを隠してしまった。姉の方の天降子はびっくりして自分の飛羽が残っているのに気がつき、あわてて身につけて天に飛び帰ってしまった。妹は、一生懸命牛飼いにたのんで、返してもらおうとしたが、牛飼いは承知しない。いたしかたなく牛飼いの家まで行って嫁になることになった。それから幾年か、二人仲良く暮していたが、二人はいっしょに天界へ里帰りに行くことになった。夫の牛飼いも、隠してあった飛羽を出して、妻に返してやると妻はそれを着て、夫を小脇にかかえて天空めざして舞いあがつた。空を飛びながら、妻が言うには、いつまでも私といっしょに暮したいと思うなら、天界へ行って両親たちが「縦に切れ」といいつけたら必ず横に切るようにしなさい。さもないと、とんでもないことになる、と固く夫に約束をさせた。天界では、ちょうど胡瓜（きゅうり）の収穫の季節で、二人が戻ってきた祝いの品に、畑から胡瓜をたくさん採つててくれた。牛飼いが庖丁を手に持っている時、不意に両親がナイキリー（縦に切れ）と叫んだ。牛飼いはそれにつられて、うっかり妻の戒めを忘れ、胡瓜を縦に切ってしまう。たちまち胡瓜から水が流れ出て、目の前に大きな川ができてしまった。妻と牛飼いは両方の岸に取り残されて会えなくなってしまった。この日がちょうど七月七日、

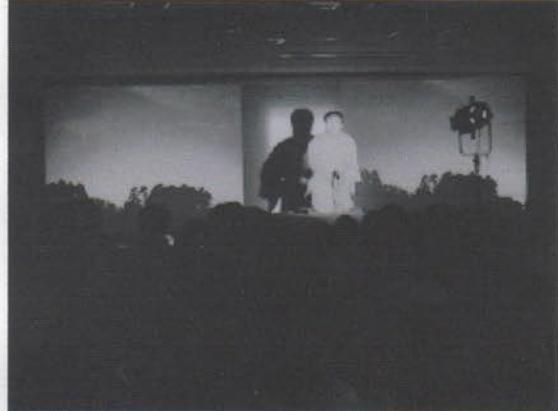


このため二人はそれ以来、一年にたった一度、七月七日の夜でないと逢えないようになってしまった。というお話です。この絵は台長オリジナルの手作りです。他にも電子紙芝居がありますので、是非天文台へお越し下さい。



システムによって投影されたものです。写真も天文台会員が撮影したものです。

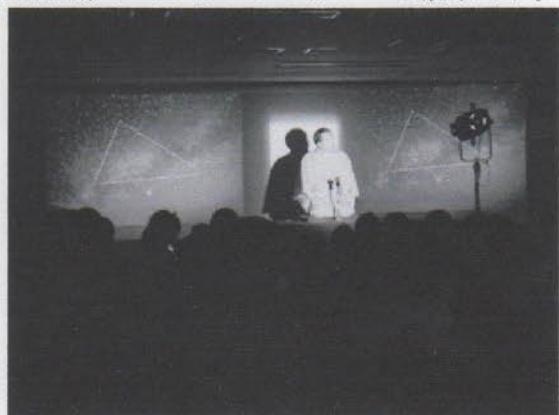
小ゑん師匠の、テンポよい話にお客さんの



さて、いよいよ小ゑん師匠登場です。太鼓とお囃子の中、小ゑん師匠登場です。
バックのスクリーンはツインプロジェクター

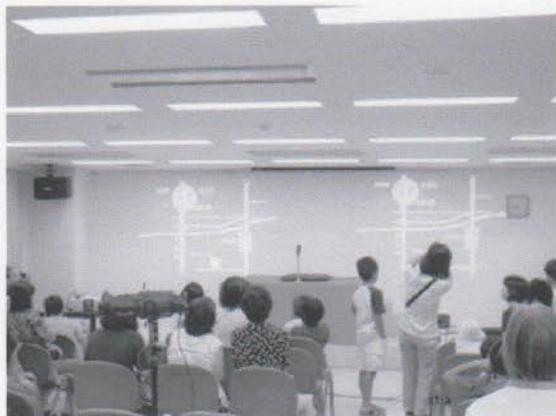


笑いの渦につつまれながらの熱演風景です
これは、ツインプロジェクターの効果です。



カラーでお見せできないのが残念。

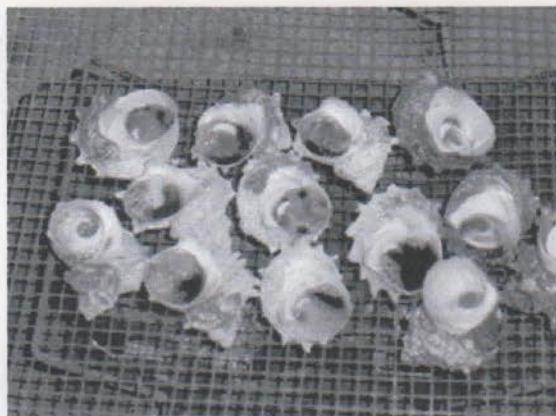
寄席終了後、みんなで募金のお願いをしました。たくさんの募金を頂きました。有り難う御座いました。これは、その様子です



高座の様子です。結構高いです。

無事終了した後、天文台への案内です。

これを機会に、本物の星空を楽しんで頂ければと思いました。



寄席も無事に終わり、小ゑん師匠と私達は天文台へ。皆が天文台へ着いたときは、きれいな晴れ間が見えていて、師匠は御自分のデジカメでサソリ座を撮っていらっしゃいました。S字のしっぽまで、なかなか見えないんだよ、と話されてました。上のサ

ザエは、木戸さんがこの日の為に、天草からとれたてを持ってきて下さいました。師匠大満足のご様子です。（師匠サザエを突っつくの図）木戸さん有り難う御座いました。大変美味しかったです。

最後に、みんなで記念撮影。小ゑん師匠どうも有り難う御座いました。裏方の皆さんも、有り難う御座いました。楽しい一日になりましたよ。



星の停車場(20) ヘルクレス座

土山由紀子

今月は、名医アスクレピオス（へびつかい座）や賢人ケイロン（いて座）と並ぶ夏の夜空の名士、勇者ヘラクレス（ヘルクレス座）をご紹介しましょう。星座名の“ヘルクレス”はヘラクレスの名をラテン語綴りにしたものなので、以下、星座名はヘルクレス座、神話の中の英雄の名はヘラクレスと表記してお話しします。

天の川の西岸に位置するヘルクレス座は、プロトマイオス48星座の一つ。3等星以下の星ばかりの大きな星座で探しにくい印象ですが、胴体を作るH字型が目印です。南中時はほぼ天頂に見え、地面に頭を向けて跪いた形で星座になっています。この星座が英雄ヘラクレスと関連づけられたのは比較的後になってからで、古の時代は単に“ひざまずく者”あるいは“鋭い目をした者”“棍棒を持つ者”と呼ばれており、アラートスも『ファイノメナ』で「このひざまずく男は一体誰なのか」とうたっています。

このためヘルクレス座は神話上の様々な人物と結びつけられてきましたが、古くは紀元前3000～3500年頃のカルデア神話、太陽神イジュドウバルの冒険物語が知られます。イジュドウバルの物語は太陽の通り道である黄道12星座について語っていると考えられ、時を経て、ギリシア神話の“ヘラクレスの12功業”の物語へと変化をとげます。ヘラクレスの12功業はしばしば黄道12星座と結びつけられますが、これはもともと太陽神の冒険物語だったからなのです。

ヘラクレスは、ペルセウスとアンドロメダの孫アルクメーネーとゼウスの間に生まれ、神と人間の血を受け継いでいましたが、ゼウスの妻ヘラの憎しみのため赤ん坊の頃から試練を受けます。ヘラは、彼の人生を邪魔するために様々なことをしましたが、ヘラクレスの名は“ヘラ女神の栄光”という意味で、やがて天にあがったとき、ヘラクレスはヘラの許しを得て永遠の幸福を得たと言われます。

ヘラクレスの12功業は、順番が前後することもありますが次の仕事を指しています。関連星座は物語の概要から分かりにくいものもありますが、またの機会にご紹介しましょう。

★ネメヤの森のライオン退治。（しし座）

★レルナの9つ頭のヒドラ退治。（うみへび座・かに座）

★エリュマントス山のイノシシ捕獲。ケンタウルス族と戦いとなり、ケイロンが事故死。
(ケンタウルス座・かに座)

★アルテミスの聖獣、金の枝角を持つ鹿の生け捕り。（さそり座・カシオペア座）

★ステュンフォロスの湖に住む、青銅のかぎ爪とくちばしで人を食べる鳥の大群退治。
(いて座・わし座・はくちょう座・ベガ：こと座・や座)

★エリスのアウゲアス王の家畜小屋の掃除。（やぎ座・エリダヌス座・みずがめ座）

★ポセイドンがクレタ島へ送った牛の生け捕り。（みずがめ座・あうし座）

★トラキア王ディオメデスの人食い馬の生け捕り。（うお座・ベガス座）

★アマゾン女王ヒボライトの帯の譲り受け。

(おひつじ座・アンドロメダ座・ベガス座・くじら座)

★人間と山羊と羊の3つの頭を持つ怪物グリュオンが飼う牛の生け捕り。

(あうし座・オリオン座・あおいぬ座・こいぬ座・ぎよしや座・コップ座・さそり座)

★地獄の番犬ケルベロスの生け捕り。（ふたご座・あおいぬ座）

★ヘスペリデスの園の黄金のリンゴを奪う。（かに座・りゅう座・あおぐま座・うしかい座）

ヘルクレス座は、英雄ヘラクレスのほか、隣の おおぐま座と関連づけてカリストの変身を悲しむ父親リュカオン又は兄のカエテウスとする説、労苦に従事する姿から馬車で働くラビタイの王イクシオンを見る説、コーカサスの岩に鎖でつながれているプロメテウスを見る説などがあります。キリスト教では、蛇と林檎と共に語られるアダム（創世記）、素手でライオンを引き裂いた怪力の英雄サムソン（士師記）に例えられました。

この星座の α 星は、美しい二重星であり、2.7等～4.0等の範囲で不規則に変光するラス・アルゲティ（Ras Algethi）。 “ひざまずく者の頭” を意味するアラビア語が語源です。アラビアの遊牧民にはアル・カルブ・アル・ライ（羊飼いの犬）とも呼ばれましたが、これは現在 へびつかい座 β の固有名として知られています。へびつかい座の項でお話したように、アラビアの古い星座でヘルクレス座 α とへびつかい座 β は天の牧場を守る番犬とされていたのです。中国では“皇帝の椅子” と呼ばれていました。

2.8等の β 星はコルネフォロス（Kornephoros）。“棍棒を持つもの” という意味のギリシア語をローマ字化した名前で、星座全体を表す名前が β 星の固有名となったものです。

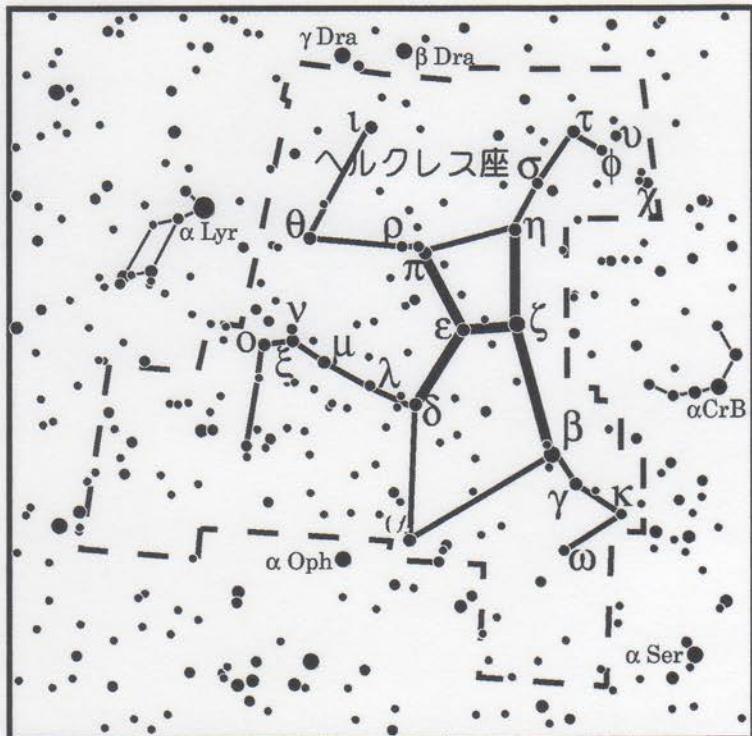
“黄金の赤” という解釈もありますが、適切ではないようです。稀にルティリクスという名を見かけ、ローマ時代の刀剣rurumが語源とも考えられますが、詳細はわかりません。中国では β 星を“川の中”，これに対し γ 星（3.8等）を“川の間” と呼んでいました。

κ (5.0等)のマルファク : Marfak : ひじ, λ (4.4等)のマシム : Masym : 手首, ω (4.6等)のクヤム : Cujam : 棍棒は、それぞれ星座の位置を示すアラビア語が語源です。

κ 星マルファクは、マルフィク(Marfic), ミルファク(Mirfak)とも書かれ、fをsと間違つたMarsicという名も

見られます。 κ を χ と見間違い、 χ にこの名を与える文献もあります。へびつかい座 λ をマルフィクといいますが、同語源の星名です。 κ は、中国では近くの星と共に“祖先の星”でした。マシムは、古くは \circ の名でしたがバイエルの星図で λ の名とされています。

3.1等の δ 星をサリン（Sarin）と記す文献がありますが、意味は不明で定着した固有名ではなさそうです。



6月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率 7日/12日=64.3% 一般来台者数 27名 会員来台 69名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
1日 (土)	はれ	8名	中島、松野、 徳尾、鹿釜、 松本、中尾の	家族連れ 2組 金星、木星、ベガ、WW、M13、アンタレス、 スピカ、M104（中尾の） 艶島、熊大天文部 7名
2日 (日)	晴のち うす曇	ナシ	艶島	ワールドカップのせいでしょうか？金星、 木星が見えているのにお客さんは“ゼロ” うす雲か広がったので他の星は見えず。 20:40 もう閉めて帰ります (Tsu)
7日 (金)	晴	0名	山田	夕刻 6時頃、うす雲が広がっていたのでダメかなと思いつつ、7時30分天文台着。 時間とともに晴れ間が広がっていってます。でも誰も来ない？せっかく上開けたのに…。(山田)
8日 (土)	くもり はれ	6名	松野、中島、 高田、鹿釜、 中尾の	Talk About 7/6 柳家小ゑん星空寄席 7/20 20周年記念レセプション&講演会 7/21 子供フェスティバル 7/27 五嶋みどりコンサート Talk About 後に、子供フェスティバル用の天文クイズを考えて、皆で盛り上がる。 でも、むずかしい…。(中尾の) 艶島、小林J、小林M、山田、長谷、富永
9日 (日)	くもり	なし	艶島、小林M、 高田	日一口のW杯試合をプロジェクターでたんのう。「Moon Light Mile」第3巻をもってきました (高田)
12日 (水)	曇		鹿釜、徳尾	ベガ 熊大天文部 3名。新入生用に観測 (徳尾)
15日 (土)	はれ	7名	中島、艶島、 松本	金星、アーケトゥルス、スピカ、ベガ うすぐもりでなかなか星が見えなくて Tsu 氏の電子紙芝居が活躍しました。(中島)

16日 (日)	くもり	なし	艶島、小林マ	うすぐもりの天気のうえ、ワールドカップ開催中はお客さんも少ないようです。(小林マ)
21日 (金)	晴	3名	長谷、小林J、立川	月、金星、ベガ、M57 夏至なのに何の変化もなし。中年男のバカ話で終わる。(立川)
22日 (土)	はれ	3人	中島、中尾の鹿釜、徳尾	金星、月、ベガ、M13、スピカ 熊大天文部 11名
26日 (水)	晴		徳尾、鹿釜、中尾	金星、月、アンタレス、スピカ 写真撮影。熊大天文部 8名

～熊大天文部ニュース！～

★ 7月の天文部勉強会の巻！



もうすぐ、テスト期間ということで、今月の勉強会はテストに無縁な人が担当するということで、大学院生の徳尾さんの担当になりました。内容は一般相対論からブラックホールや宇宙論を取り上げて分かりやすく？説明しました。写真を撮ろうとしたのですが、ご覧のとおり拒否されてしまいました…。

★ 熊大天文部部長、弓立君の記事が星ナビに掲載！

星屑 6月号に掲載された弓立君の記事「私の天文に関する（おそらくは）原体験」が星ナビ 8月号に掲載されました。天文部の記事が天文雑誌に掲載されるという快挙なのですが、写真のとおり、弓立君は恥ずかしがってます…。これからも弓立くんの記事が星屑を賑わせてくれることでしょう！



B5のたわごと

やって来ました熊本の夏が。暑いです～、蒸します～、もおどうにでもして～。と思
考回路も熱暴走しています。熱で暴走と言えば台風。台風が来ないと何処かで書いてい
たら、南の国からポコポコと、湧上がって来るじゃありませんか。どうか直撃、いや、
遠巻きに、どつか行って下さいませ。

☆H14年度分の会費納入をお願いします。正会員8000円 友の会会員5000円☆

☆8月の天文現象＆行事☆

- 1日（木） 下弦（19：22）
- 2日（金） やぎ座α流星群が極大
- 3日（土） うお座Rが極大（周期345日 7.0～14.8等）
恐竜博物館より観測会に来台予定（50名程度）
- 6日（火） みずがめ座δ流星群の南群が極大のころ
- 8日（木） 立秋（りっしゅう…暑気はまだ強いが、涼風吹き始め、秋の気配立つ頃）
- 9日（金） 新月（04：15）
- 10日（土） トークアバウト（20：00～）九州スターフェスタ（熊本県清和村にて）
おとめ座RSが極大（周期354日 7.0～14.6等）
- 11日（日） いて座RTが極大（周期306日 6.0～14.1等）
- 12日（月） みずがめ座δ流星群の北群が極大のころ
フィールドミュージアムへ飛び出そう：「星降る夜空」（天文台にて）
- 13日（火） ペルセウス座流星群が極大（100名程度？）
- 15日（木） 旧七夕 上弦（19：12）
- 19日（月） くじら座Wが極大（周期351日 7.1～14.8等）
- 22日（木） 金星が東方最大離角（46°00.3' -4.3等 視直径24.4"）
- 23日（金） 処暑（しょしょ…旺盛な太陽も次第に衰え、暑熱も退く）
満月（07：29）
- 25日（日） カシオペヤ座Tが極大（周期445日 6.9～13.0等）
- 31日（土） 下弦（11：31）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2002年8月号 通巻329号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>

熊本県民天文台 開設20周年記念 天文講演会

「ぼくたちは 星のかけら」

講師： 国立天文台 広報普及室長

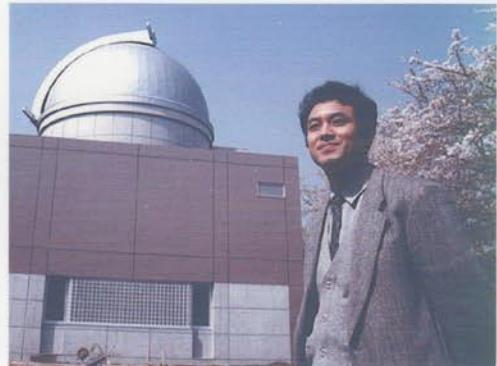
渡部 潤一 氏

日時： 7月20日（土曜日）

15:00～

場所： 城南町

火の君総合文化センター 大ホール



入場無料

渡部さんは日本の天文解説の第一人者です。
たくさんの天文解説の本を書いていらっしゃいますし、お話が大変上手な方です。

今回は、ハワイ島に建設された世界最大級の
「すばる」望遠鏡を使って、日本が切り開いて
いる世界の天文学の最前線を紹介します。
「すばる」で撮影したたくさんの画像を使い、
最新の宇宙像を小中学生にもわかりやすく解説
いたします。

ぜひご来場下さい！